

第4学年松組 算数科『小数』略案 (2/8)

指導者 大山知巳

1. 日時 9月 6日(水) 2校時(9:20~10:05)

2. ねらい ○ 身の回りで用いられている小数や小数の便利さに気づき、小数の学習への興味・関心を高める。
 ○ 小数に関する語句を確認し、整数との識別ができる。

3. 本時の実際

時 間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援
10:30	1. 本時の課題について確認する。 「小数」に関するキーワードを確かめ、身の回りのいろいろな「小数」について調べてみよう。	○ 本時の学習の見通しをもつことができるよう、前時の学習を想起しながら、活動のキーワードを示していく。 《活動のキーワード》 ・語句 ・クイズ ・身の回りの小数	
10:35	2. 活動のキーワードに沿って進めていく。 ①【語句】について確かめる。 ②小数に関するクイズ（確認シート）に取り組む。 ③身の回りで用いられている小数を紹介し合う。	○ 前時の学習を想起しながら子どもたちの発表に合わせてカードを掲示し、新しく覚えた言葉、大事な言葉について確認できるようにする。 ○ 前時の学習に関連した問題用紙を準備しておく。 ○ 前時学習後、「小数集め」をするように声をかけておくことで、様々なところで小数が利用されていることに自ら気づくことができるようになる。	◇ 前時の学習を確認する質問を出し、基本事項をおさえる。 ◇ 小数クイズの補助質問（助言）を行う。 ◇ 子どもたちの発表を受け、いくつか身の回りの小数を映像を利用品がら紹介し、小数のしくみについて興味・知識を高めることができるようにするとともに、小数の便利性にふれ今後の学習の意欲付けを図る。
11:05	3. 練習問題を解く。		
11:10	4. 本時の振り返りをする。	・大事だと思ったこと、小数の便利性、今後の学習への思いなどについてふりかえるように促す。	◇ 本時及び今後の学習に向けての感想や助言を話す。

